

岡山県感染症週報 2025年第16週 (4月14日～4月20日)

2025年4月7日から急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスが始まりました

2025年4月7日から急性呼吸器感染症が感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点サーベイランスの対象となりました。

[急性呼吸器感染症\(ARI\)とは\(厚生労働省\)](#)

[急性呼吸器感染症\(ARI\)に関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

◆2025年 第16週 (4/14～4/20) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況 (第16週届出分)

第14週	5類感染症	梅毒	2名 (30代 男 2名)
		百日咳	3名 (小学生 女 1名、30代 男 1名、40代 女 1名)
第15週	5類感染症	梅毒	2名 (50代 女 1名、60代 男 1名)
		百日咳	11名 (小学生 男 2名・女 5名、中学生 男 1名、高校生 女 1名、30代 女 1名、40代 女 1名)
第16週	2類感染症	結核	4名 (30代 男 1名、80代 男 1名・女 1名、90代 女 1名)
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3名 (O91: 30代 女 1名、O血清群不明: 20代 女 2名)
	4類感染症	レジオネラ症	1名 (80代 男)
	5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1名 (70代 男)
		侵襲性肺炎球菌感染症	1名 (70代 男)
		梅毒	4名 (20代 男 1名、30代 女 1名、40代 男 1名、60代 男 1名)
		百日咳	49名 (幼児 男 2名、小学生 男 16名・女 17名、中学生 男 4名・女 3名、高校生 女 1名、30代 女 1名、40代 男 1名・女 4名)

効果的な場面でのマスク着用!



© 岡山県「ももっち」

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数: ARI 定点 50、小児科定点 28、眼科定点 12、STD 定点 18、基幹定点 5

(ARI 定点の対象疾病にはインフルエンザおよび新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) も含まれます。)

- 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、県全体で 114 名 (定点あたり 2.28 人) の報告がありました。
- 急性呼吸器感染症 (ARI) は、県全体で 3,196 名 (定点あたり 63.92 人) の報告がありました。
- インフルエンザは、県全体で 87 名 (定点あたり 1.74 人) の報告がありました。

1. [新型コロナウイルス感染症 \(COVID-19\)](#) は、県全体で 114 名の報告があり、前週から減少しました (定点あたり 3.24 → 2.28 人)。地域別では、備中地域 (4.60 人)、倉敷市 (3.67 人)、備北地域 (2.75 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。年代別では、10 歳未満、20 代および 30 代を除く年代で前週から減少しました。基本的な感染防止策 (効果的な場面でのマスク着用、手洗い等の手指衛生、換気、3 密 (密閉・密集・密接) の回避、健康的な日常生活、体調不良時の備え) に留意し、自主的な判断により実施しましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ [『新型コロナウイルス感染症 \(COVID-19\) 情報』](#) をご覧ください。
2. [急性呼吸器感染症 \(ARI\)](#) は、県全体で 3,196 名の報告があり、前週から増加しました (定点あたり 51.60 → 63.92 人)。詳しくは、「[★急性呼吸器感染症\(ARI\)情報](#)」および岡山県感染症情報センターホームページ [『急性呼吸器感染症 \(ARI\) 情報』](#) をご覧ください。
3. [インフルエンザ](#) は、県全体で 87 名の報告があり、前週から減少しました (定点あたり 2.04 → 1.74 人)。岡山県は、[『インフルエンザ注意報』](#) を発令し、広く注意を呼びかけています。詳しくは、「インフルエンザ週報」および岡山県感染症情報センターホームページ [『2024/25 年シーズン インフルエンザ情報「インフルエンザ注意報」発令中!』](#) をご覧ください。

4. **梅毒**は、2025年第16週に4名の報告があり、2025年の累計報告数は74名となりました（2024年の同時期：107名）。なお、2024年の累計報告数は、1999年の感染症法施行以降、最多の355名でした。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[梅毒について](#)』をご覧ください。
5. **百日咳**は、2025年第16週に49名の報告があり、2025年の累計報告数は227名となりました（2024年の同時期：1名）。詳しくは「[今週の注目感染症](#)」をご覧ください。

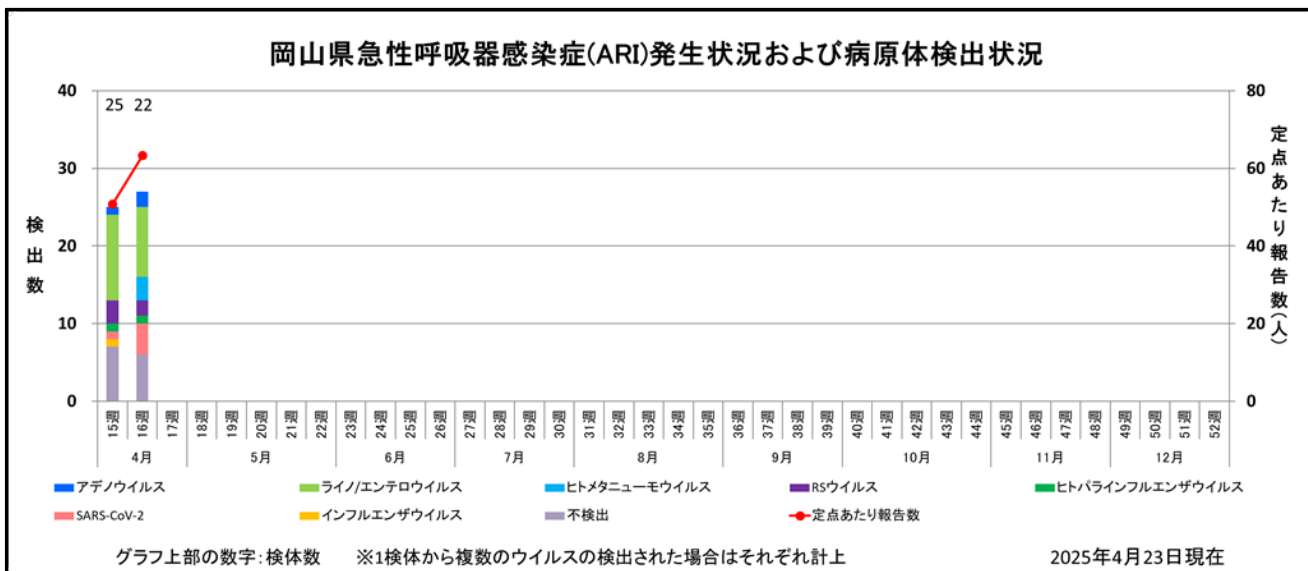
流行の推移

疾病名	定点あたり患者数		推移	疾病名	定点あたり患者数		推移
	前週	今週			前週	今週	
インフルエンザ	2.04	1.74		突発性発しん	0.21	0.39	
COVID-19	3.24	2.28		ヘルパンギーナ	0.04	0.00	
急性呼吸器感染症(ARI)	51.60	63.92		流行性耳下腺炎	0.04	0.11	
RSウイルス感染症	1.11	0.61		急性出血性結膜炎	0.00	0.00	
咽頭結膜熱	0.25	0.14		流行性角結膜炎	0.25	0.17	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.25	1.61		細菌性髄膜炎	0.00	0.00	
感染性胃腸炎	11.14	12.93		無菌性髄膜炎	0.20	0.00	
水痘	0.11	0.29		マイコプラズマ肺炎	0.60	0.60	
手足口病	0.11	0.00		クラミジア肺炎	0.00	0.00	
伝染性紅斑	0.14	0.14		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.20	0.60	

【記号の説明】 前週からの推移 : 増加 : ほぼ増減なし : 減少 増加・減少 : 前週比10%以上の増減

★急性呼吸器感染症（ARI）情報

1. 岡山県の流行状況（第16週（4/14～4/20））および病原体検出状況



※定点把握対象となった第15週から表示しています。

※急性呼吸器感染症（ARI）定点医療機関数：50 医療機関（内科定点 22、小児科定点 28）

※急性呼吸器感染症（ARI）病原体定点医療機関数：5 医療機関

急性呼吸器感染症（ARI）は、県全体で3,196名の報告があり、前週から増加しました（定点あたり51.60→63.92人）。地域別では、備中地域（128.40人）、岡山市（77.83人）、備前地域（67.00人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。基本的な感染防止策（換気や手洗い・手指消毒、マスクの着用を含めた咳エチケットなど）に留意し、感染対策に努めましょう。

2025年第16週に環境保健センターに搬入された検体から検出された病原体は、39株（詳細は下表参照）でした。

【15週および16週 病原体検出状況】

	第15週	第16週	計*
検体数（内不検出数）	25(7)	22(6)	47(13)
インフルエンザウイルス	1	0	1
SARS-CoV-2	1	4	5
ヒトパラインフルエンザウイルス	1	1	2
RSウイルス	3	2	5
ヒトメタニューモウイルス	0	3	3
ライノ/エンテロウイルス	11	9	20
アデノウイルス	1	2	3
計	18	21	39

* 重複あり

2. 新型コロナウイルスゲノム解析結果

ゲノム解析の状況は以下のホームページをご覧ください。

○岡山県の状況

→ [新型コロナウイルスのゲノム解析（岡山県感染症情報センター）](#)

○全国の状況

→ [SARS-CoV-2 変異株について（国立健康危機管理研究機構）](#)

【急性呼吸器感染症(ARI)について】

●急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)とは

急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を示す病原体による症候群の総称です。

令和7年4月7日から感染症法上の5類感染症に位置付けられ、**定点サーベイランスの対象**となりました。

[急性呼吸器感染症\(ARI\)とは\(厚生労働省\)](#)

[急性呼吸器感染症\(ARI\)に関する Q&A\(厚生労働省\)](#)

●急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランス

急性呼吸器感染症サーベイランスでは患者情報の収集と、原因となる病原体の発生動向を把握します。

①患者情報の収集

急性呼吸器感染症(ARI) 定点医療機関は一週間あたりの急性呼吸器感染症の患者数を報告します。

②病原体情報の収集

地方衛生研究所等は急性呼吸器感染症(ARI) 病原体定点医療機関が採取した検体について、病原体の検索および分析を行います。

[急性呼吸器感染症\(ARI\)サーベイランスが始まります。【医療機関向け】\(厚生労働省\)](#)

[病原体定点サーベイランスについて【一般の方向け】\(厚生労働省\)](#)

ゴールデンウィークに海外へ渡航される方へ

海外には、日本国内に存在しない感染症が多くあります。
渡航先の感染症に対する予防対策が必要です。

出発前の注意

- ・感染症に対する正しい知識と予防方法を身に付けましょう。
- ・渡航先の感染症の発生状況に関する最新の情報や注意事項を確認しましょう。
- ・これまで受けた予防接種について確認し、予防対策が不十分なものがあれば、予防接種を検討しましょう。

旅行中の注意

- ・生水、氷、カットフルーツ、サラダや生乳など、火が通っていないものを飲食することは避けましょう。
- ・肌の露出を少なくする、こまめに虫よけ剤を使用するなど蚊やダニに刺されないように注意しましょう。
- ・動物には、むやみに近づいたり、触らないようにしましょう。
(狂犬病や鳥インフルエンザなどのウイルスをもっていることがあります。)
- ・帰宅後は、しっかり手洗いをしましょう。



©岡山県「ももっち・うらっち」

帰国した後に

- ・帰国時に発熱や下痢などの症状がある方は、空港または海港の検疫所に相談してください。
- ・帰国時に症状がなくても、その後体調が悪くなったときは、早めに医療機関を受診し、その際は必ず渡航先も伝えてください。

[海外へ渡航される皆様へ\(厚生労働省\)](#)

[海外渡航者・帰国者向けの啓発ツール\(厚生労働省\)](#)

[海外へ渡航される皆さまへ！\(厚生労働省検疫所 FORTH\)](#)

今週の注目感染症

★百日咳

●感染経路および症状

百日咳は、百日咳菌による急性の気道感染症で、一年を通じて発生がみられます。感染経路は患者の咳などによる飛沫感染や接触感染です。

感染後、通常7～10日間程度の潜伏期を経て発症し、風邪症状で始まり、次第に咳の回数が増えます（カタル期：約2週間）。

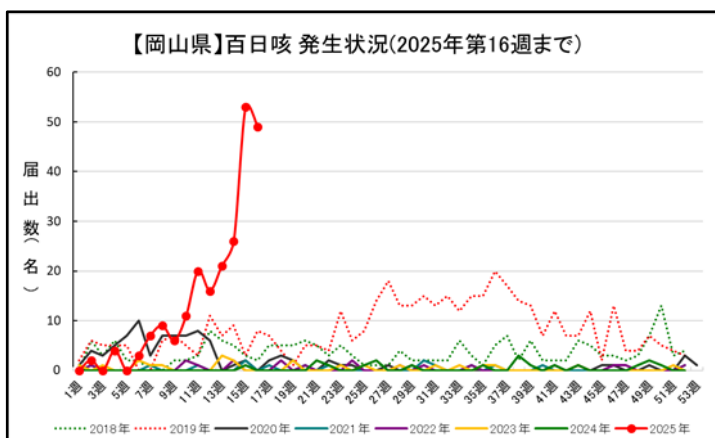
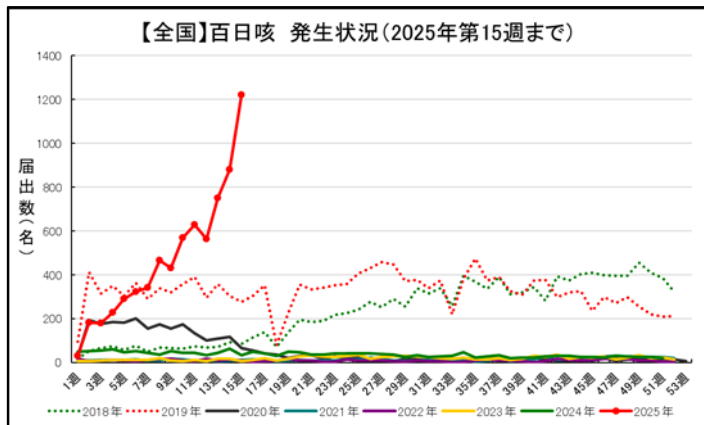
咳は次第に発作性けいれん性の咳（けい咳）となり、発作をくり返します。おう吐や顔面浮腫を起こしたり、乳児期早期では特徴的な咳がなく、無呼吸発作により、重篤となることがあります。合併症としては肺炎や脳症などもあり特に乳児では注意が必要です（けい咳期：2～3週間）。

全経過2～3か月で次第に回復していきますが、時折発作性の咳が出ることがあります（回復期）。

成人では咳が長期にわたって続きますが、典型的な発作性の咳がでることなく回復するため、見逃されやすくワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源として注意が必要です。

[百日咳（厚生労働省）](#)

[百日咳（国立健康危機管理研究機構）](#)



●治療・予防方法

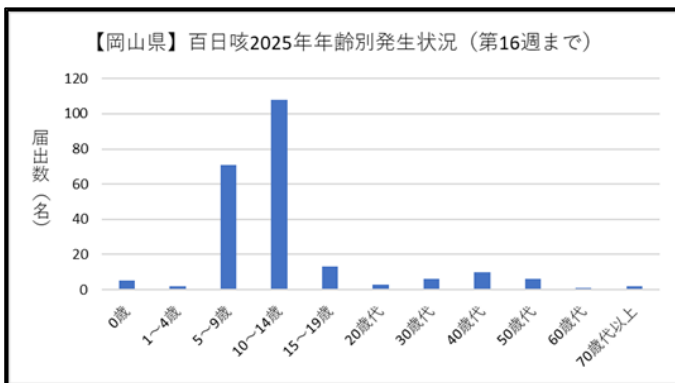
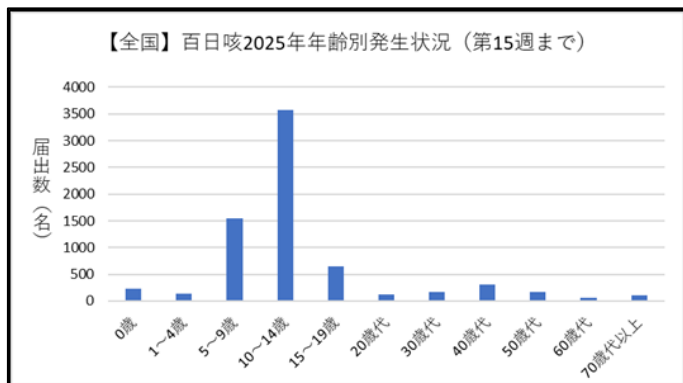
治療は生後6か月以上の患者にはマクロライド系の抗菌薬が用いられます。また、咳が激しい場合には、咳止め薬も用いられることがあります。

予防法は、予防接種のほか、感染者との接触を避ける、流行時のうがいや手洗い、手指の消毒などです。感染時は『咳エチケット』を心がけ、感染拡大防止に努めましょう。また、風邪と見分けがつかないまま、感染を広げる可能性があるため、咳が続く場合は早めに医療機関を受診しましょう。

●発生状況

全国では第15週に1,222名の届出があり、2025年の累計届出数は7,084名となっています（2025年4月16日時点）。年齢別では、5～14歳で多く発生しています。

岡山県では第16週に49名の届出があり、2025年の累計届出数は227名となっています（2025年4月23日時点）。年齢別では、全国と同様に5～14歳で多く発生しています。



インフルエンザ週報 2025年 第16週 (4月14日～4月20日)

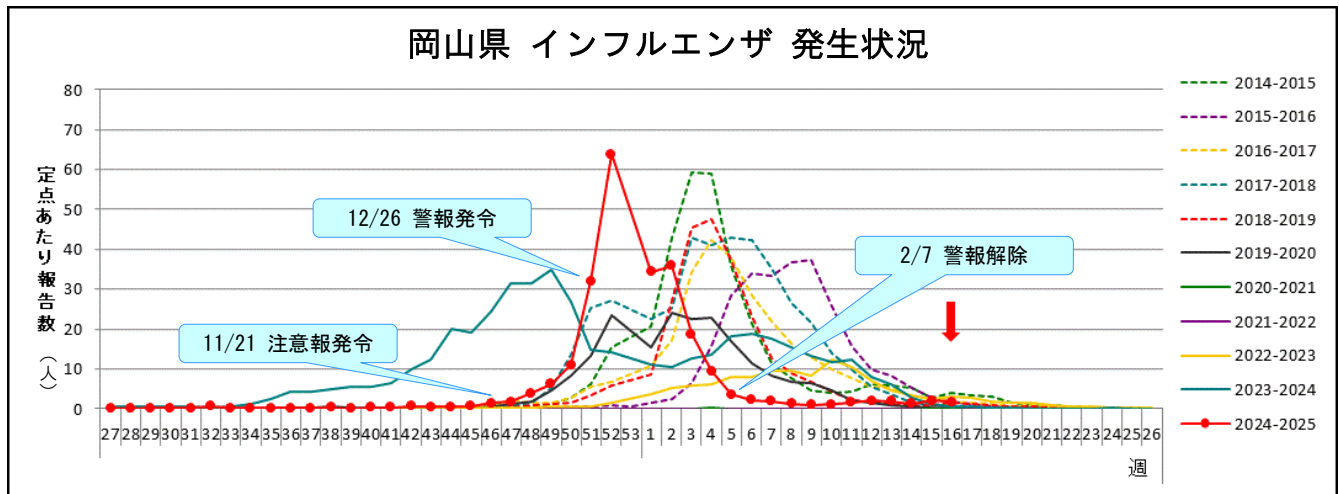
岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で87名（定点あたり1.74人）の報告がありました（50定点医療機関報告）。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、5施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者1名の報告がありました。

【第17週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が5施設でありました（4月21日～23日）。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

※2025年第15週以降定点がインフルエンザ/COVID-19定点（84医療機関）からARI定点（50医療機関）になりました。

インフルエンザは、県全体で87名の報告があり、前週から減少しました（定点あたり2.04→1.74人）。

岡山県は、『インフルエンザ注意報』を発令し、広く注意を呼びかけています。

地域別では、備北地域（2.50人）、備中地域（2.40人）、倉敷市（2.08人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

県内の発生状況に注意するとともに、基本的な感染防止策（場面に応じたマスクの着用、手洗い等の手指衛生、人混みを避ける）、健康的な日常生活等に留意し、感染予防・感染対策に努めましょう。

◆インフルエンザの流行が継続しています。

引き続き感染に注意しましょう◆

【感染予防と感染対策の徹底】

- ・ 場面に応じたマスクの着用、手洗い、手指消毒の徹底
- ・ 室内の適度な湿度の設定、定期的な空気の入換え
- ・ 高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける
- ・ 十分な休養、バランスのとれた食事

【発熱等の症状が出た際の対応】

- ・ 無理をして学校や職場等に行かないようにしましょう
- ・ かかりつけ医などの医療機関を早めに受診しましょう（受診の際はマスクを着用しましょう）
- ・ 周りの方へうつさないように「咳エチケット」を！
- ・ 水分を十分にとり、安静にして休養をとる

⇒ 詳細は岡山県ホームページ『[インフルエンザ対策について](#)』をご覧ください。

1. 地域別発生状況

地域名	発生状況 (人)		推移	地域名	発生状況 (人)		推移
岡山県全体	患者数	87	▲	備 中	患者数	12	▲
	定点あたり	1.74			定点あたり	2.40	
岡山市	患者数	34	▲	備 北	患者数	10	▲
	定点あたり	1.89			定点あたり	2.50	
倉敷市	患者数	25	▲	真 庭	患者数	1	▲
	定点あたり	2.08			定点あたり	0.50	
備 前	患者数	4	▲	美 作	患者数	1	▲
	定点あたり	1.00			定点あたり	0.20	

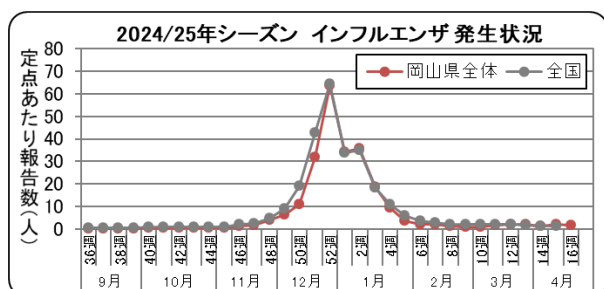
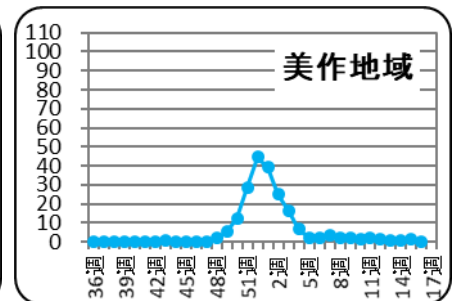
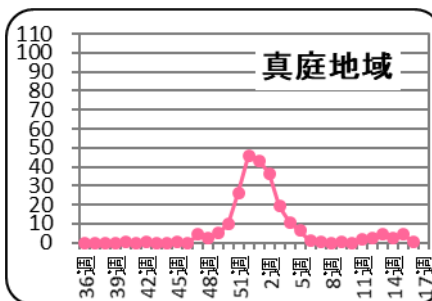
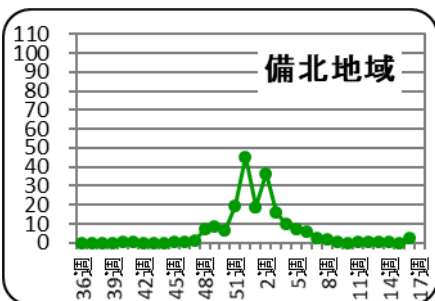
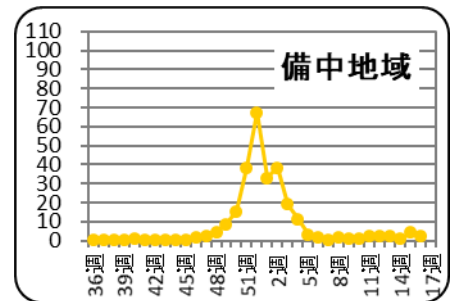
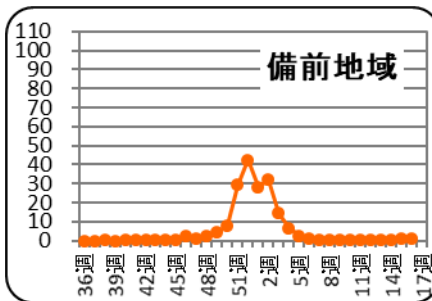
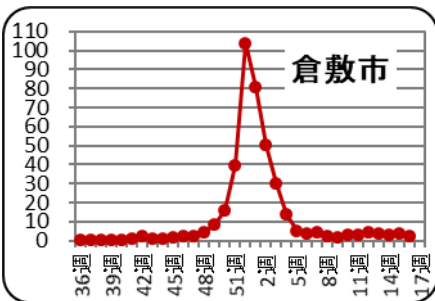
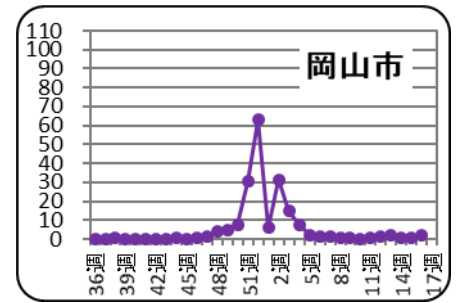
【記号の説明】 前週からの推移 ▲ : 大幅な増加 ▲ : 増加 ▲ : ほぼ増減なし ▼ : 減少 ▼ : 大幅な減少
 大幅 : 前週比 100%以上の増減 増加・減少 : 前週比 10~100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

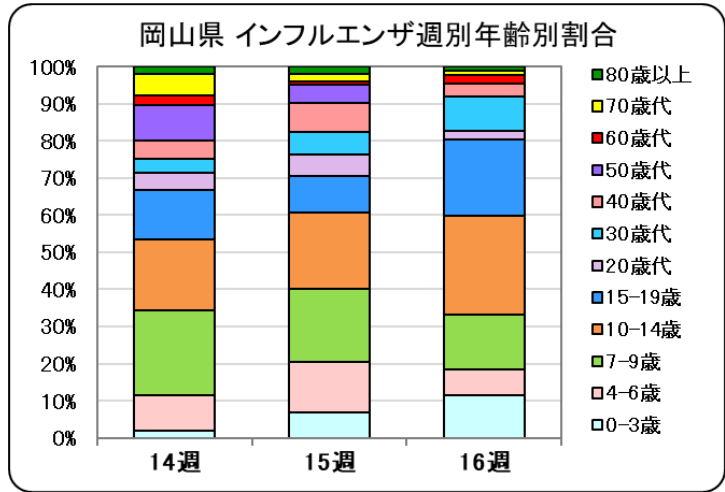
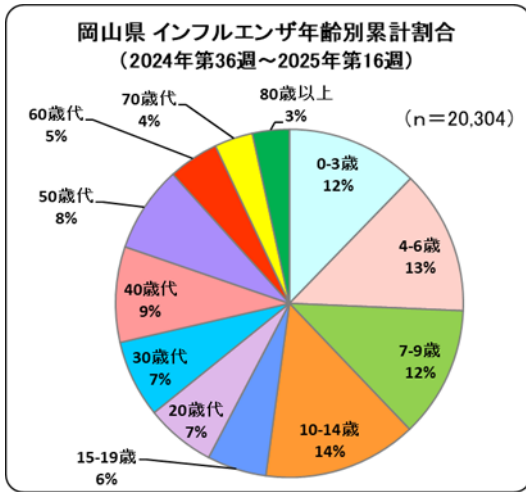
レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0 < 10 未満		0



全国集計 2025 年第 15 週 (4/7~4/13) 速報値によると、全国の定点あたり報告数は 1.19 人となりました。都道府県別では、秋田県 (4.72 人)、沖縄県 (2.51 人)、富山県 (2.43 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。25 都道府県で前週の報告数から増加しました。

[インフルエンザの発生状況について \(厚生労働省\)](#)

2. 年齢別発生状況



⚠️ 留意点: 年齢階級別の報告数の考え方について

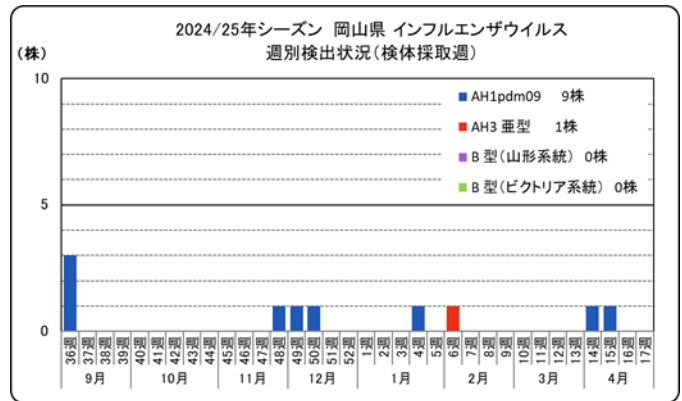
定点医療機関は、小児科定点(54 医療機関)が内科定点(30 医療機関)に比べて多いため、**報告数は小児に偏ります。**(2025 年第 15 週から小児科定点 28 医療機関、内科定点 22 医療機関に変更となりました。)

3. インフルエンザウイルス検出状況

【岡山県】

2025 年第 16 週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 2 株 (詳細は下表参照) でした。

今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 10 株で、AH1pdm09 が 9 株、AH3 亜型が 1 株となっています。

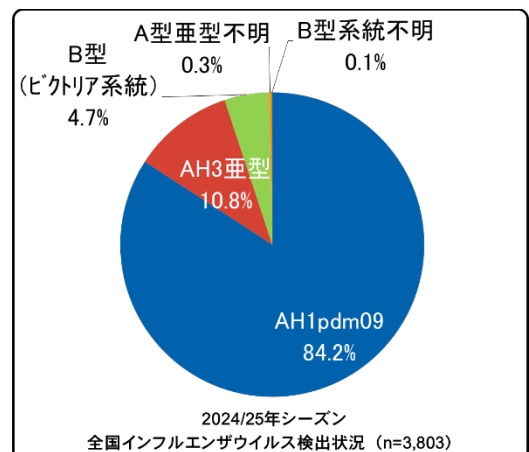
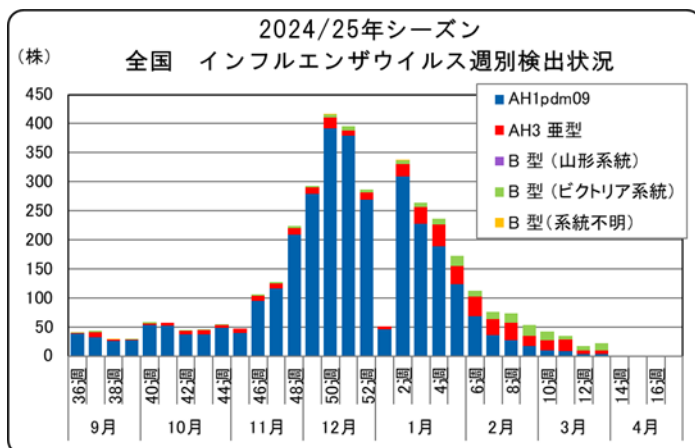


ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスAH1pdm09	2025年第14週(3/31~4/6)	2025/4/2	岡山市	50代	女	
インフルエンザウイルスAH1pdm09	2025年第15週(4/7~4/13)	2025/4/7	真庭	60代	男	

【全国】

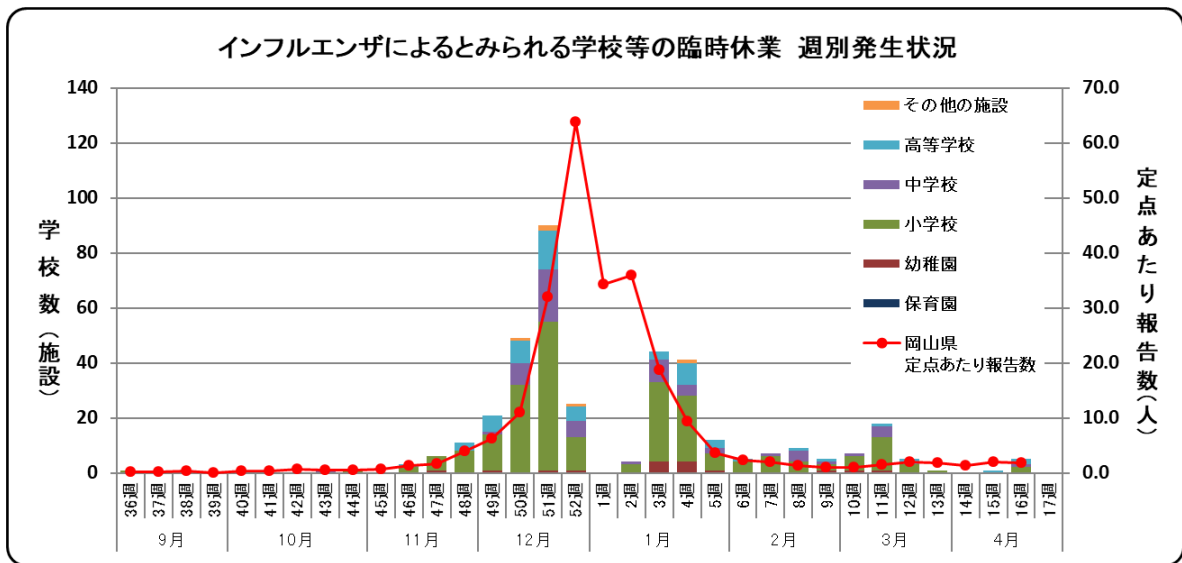
今シーズン、これまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09 が 3,201 株、AH3 亜型が 409 株、B 型 (ビクトリア系統) が 179 株、A 型亜型不明が 11 株、B 型系統不明が 3 株となっています (4 月 22 日現在)。

[インフルエンザウイルス分離・検出速報 \(国立健康危機管理研究機構\)](#)



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、5施設でありました。



臨時休業施設数の内訳

	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
第16週	0	0	2	1	2	0	5
累計	0	16	229	62	60	5	372

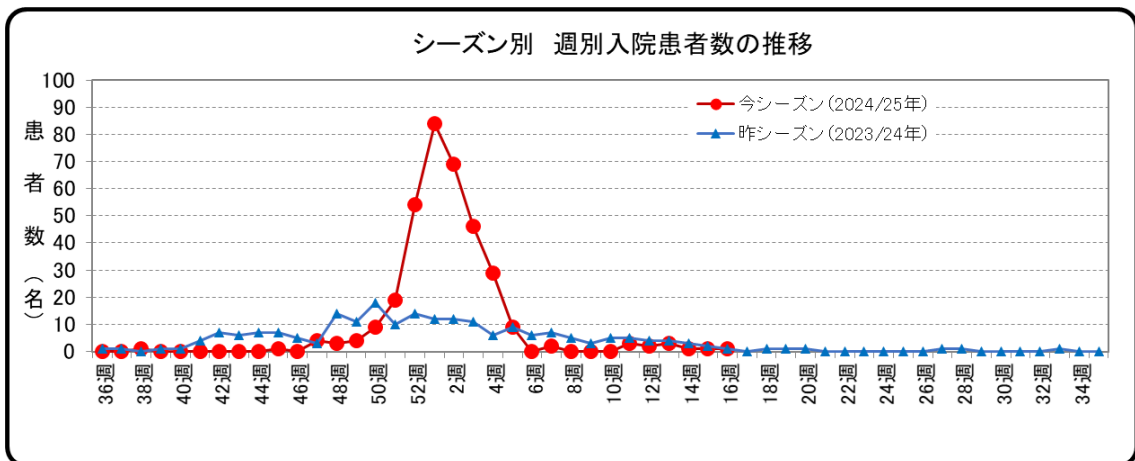
最新の臨時休業の情報については以下のホームページをご覧ください。

→ [\(R6年度シーズン\) 岡山県内の学校等におけるインフルエンザとみられる臨時休業](#)

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、1名の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第16週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数		1											1
ICU入室*													
人工呼吸器の利用*													
頭部CT検査(予定含)*													
頭部MRI検査(予定含)*													
脳波検査(予定含)*													
いずれにも該当せず		1											1

* 重複あり

【2024年9月2日(第36週)以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	6	34	21	8	2	4	2	7	27	42	84	108	345
ICU入室*		1	3				1	3	7	4	7	5	31
人工呼吸器の利用*		1	1				1	3	4	1	6	6	23
頭部CT検査(予定含)*		2	2	2				1	3	4	10	17	41
頭部MRI検査(予定含)*		7	6	1					1		3	2	20
脳波検査(予定含)*		3	3	2									8
いずれにも該当せず	6	25	11	6	2	4	1	4	19	34	67	83	262

* 重複あり

[令和6年度 インフルエンザQ&A\(厚生労働省\)](#)

[令和6年度 今シーズンのインフルエンザ総合対策について\(厚生労働省\)](#)

保健所別報告患者数 2025年 16週(定点把握)

(2025/04/14~2025/04/20)

2025年4月24日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	87	1.74	34	1.89	25	2.08	4	1.00	12	2.40	10	2.50	1	0.50	1	0.20
COVID-19	114	2.28	20	1.11	44	3.67	9	2.25	23	4.60	11	2.75	4	2.00	3	0.60
急性呼吸器感染症	3196	63.92	1401	77.83	553	46.08	268	67.00	642	128.40	193	48.25	3	1.50	136	27.20
RSウイルス感染症	17	0.61	5	0.50	7	1.00	1	0.50	2	0.67	-	-	-	-	2	0.67
咽頭結膜熱	4	0.14	-	-	2	0.29	2	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	1.61	19	1.90	19	2.71	-	-	7	2.33	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	362	12.93	162	16.20	67	9.57	12	6.00	66	22.00	29	14.50	1	1.00	25	8.33
水痘	8	0.29	-	-	1	0.14	1	0.50	6	2.00	-	-	-	-	-	-
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	4	0.14	3	0.30	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	11	0.39	6	0.60	2	0.29	-	-	2	0.67	-	-	-	-	1	0.33
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	3	0.11	2	0.20	-	-	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	0.17	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	0.60	1	1.00	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	0.60	1	1.00	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2025年 16週(発生レベル設定疾患)

(2025/04/14~2025/04/20)

2025年4月24日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	87	1.74	34	1.89	25	2.08	4	1.00	12	2.40	10	2.50	1	0.50	1	0.20
咽頭結膜熱	4	0.14	-	-	2	0.29	2	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	1.61	19	1.90	19	2.71	-	-	7	2.33	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	362	12.93	162	16.20	67	9.57	12	6.00	66	22.00	29	14.50	1	1.00	25	8.33
水痘	8	0.29	-	-	1	0.14	1	0.50	6	2.00	-	-	-	-	-	-
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	4	0.14	3	0.30	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	3	0.11	2	0.20	-	-	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	0.17	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2025年 第16週 2025/04/14～2025/04/20)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ	87	-	-	4	3	3	1	3	2	5	6	2	23	18	2	8	3	-	2	1	1
COVID-19	114	-	2	1	1	3	3	-	2	-	2	1	3	4	19	9	12	19	8	8	17

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
急性呼吸器感染症	3196	294	1443	612	264	84	76	84	61	79	62	69	68

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	17	5	3	4	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	4	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	-	-	2	4	9	2	3	1	3	6	5	8	2	
感染性胃腸炎	362	2	37	69	36	26	28	25	12	26	20	15	33	4	29
水痘	8	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	1	1	1	
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	4	-	-	1	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
突発性発疹	11	-	4	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

保健所別

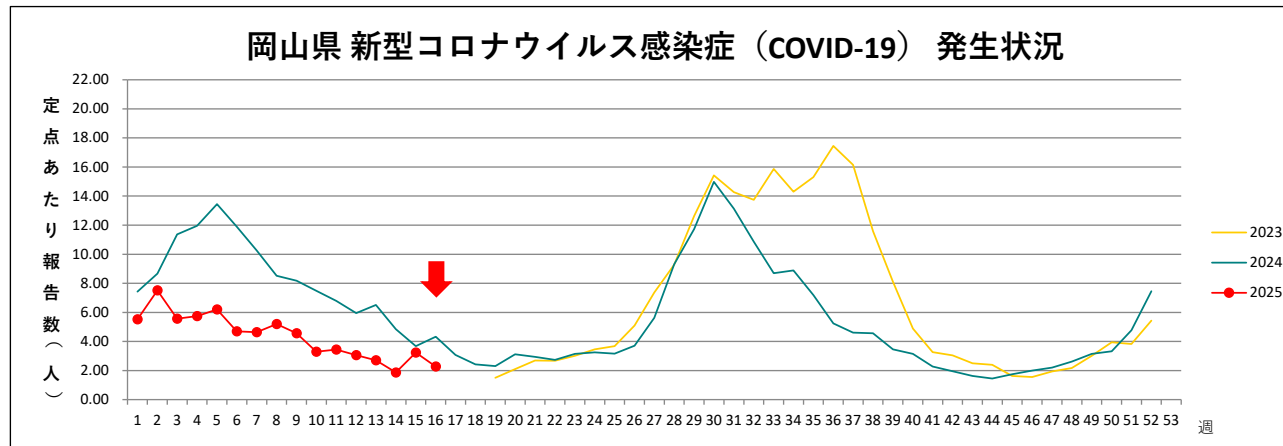
疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	114	2.28	20	1.11	44	3.67	9	2.25	23	4.60	11	2.75	4	2.00	3	0.60

(- : 0 or 0.00)

年齢別

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	114	-	2	1	1	3	3	-	2	-	2	1	3	4	19	9	12	19	8	8	17

(- : 0)



保健所別

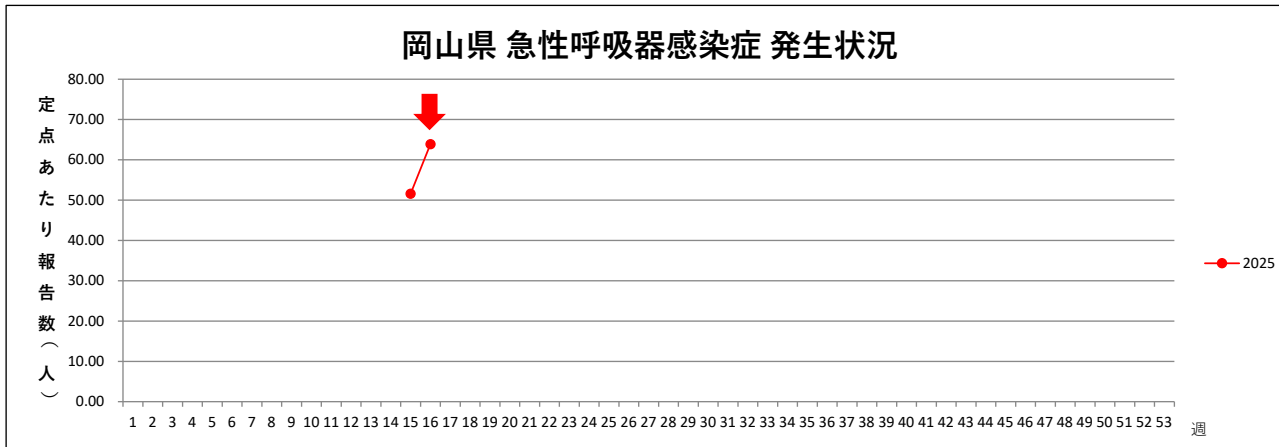
疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
急性呼吸器感染症 (ARI)	3,196	63.92	1,401	77.83	553	46.08	268	67.00	642	128.40	193	48.25	3	1.50	136	27.20

(- : 0 or 0.00)

年齢別

疾病名	合計	-12ヶ月	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
急性呼吸器感染症 (ARI)	3,196	294	1,443	612	264	84	76	84	61	79	62	69	68

(- : 0)



全数把握 感染症患者発生状況

2025 年 16 週

分類	疾病名	2025		2024	疾病名	2025		2024	疾病名	2025		2024
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-								
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	4	63	246	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-								
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	3	10	63
	腸チフス	-	-	2	パラチフス	-	-	-				
四類	E型肝炎	-	2	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	4
	エキノコックス症	-	-	-	エムポックス	-	-	-	黄熱	-	-	-
	オウム病	-	-	-	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-
	キャサヌル森林病	-	-	-	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-
	コクシジオイデス症	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	1
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	-
	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本紅斑熱	-	-	21	日本脳炎	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	1	10	42
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-				
五類	ア메ーバ赤痢	-	2	10	ウイルス性肝炎	-	1	5	カルバベナム耐性腸内細菌目細菌感染症	-	13	36
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	-	-	3	急性脳炎	-	6	16	クリプトスポリジウム症	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	1	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	4	30	後天性免疫不全症候群	-	2	8
	ジアルジア症	-	-	1	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	2	13	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	25	35	水痘(入院例に限る。)	-	3	11	先天性風しん症候群	-	-	-
	梅毒	4	74	355	播種性クリプトコックス症	-	-	5	破傷風	-	-	-
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	百日咳	49	227	19
	風しん	-	-	-	麻しん	-	2	-	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

